

会報



再処理企業協議会

さいいくる



2016年7月 第6号

2016年（平成28年）7月15日発行

発行：再処理企業協議会

発行責任者：事務局長 北上孝寿

〒039-3212 青森県上北郡六ヶ所村大字尾駸字
弥栄平1-5 再処理企業センター

TEL (0175) 71-2478

FAX (0175) 71-2488

URL <https://www.saisyori-kigyokyogikai.jp/>



会長挨拶



再処理企業協議会 会長
(株)東芝 六ヶ所作業所

所長 吉本 篤史

皆さん、お疲れ様です。毎日の作業ご苦労様です。

会長に就任してから本年度で2年目を迎え、新たな気持ちで皆さんの協力を得ながら引き続き本協議会をリードして行きたいと思いをします。

本年度初頭の日本原燃殿の品証大会において皆さんを代表して協力表明をさせて頂きましたが、その思いを以下に引用させて頂き皆さんとその思いを共有し、2018年竣工を目指し我々が与えられた使命に全力投球して行きたいと思いをしますので宜しく御協力の程お願い致します。

☆☆☆

我々は昭和63年のウラン濃縮工場の着工以来28年にわたり、世紀の大事業である原子燃料サイクル施設の設計、建設、試運転の各段階に従事させて頂いており、「準国産エネルギーの確立」に直接寄与できることは大いなる誇りであり、同時にその機会を与えられたことに感謝しています。

一方、3.11東日本大震災以来、本年で5年が経過したわけですが、復興がなかなか進展しないと同時に国内原子力業界の環境は各事業者、協力会社ともに非常に厳しい状況が続いています。

そんな中で、昨年度は原子力発電所再稼働元年となった事は大きな進展であり、また再処理工場の基準地震動がほぼ確定したことは、今まで霧に包まれていた「竣工」の文字が見え始めた年でもありました。

そして今年度は、2018年上期の念願の再処理施設竣工と操業に向けて、一步一步確実に霧を晴らしていく非常に重要な年であると認識しています。

我々協力会社の使命は、従来工事は基より、現場工事の錯綜が想定される新規制基準対応工事に対して知恵を出し合い、力を合わせながら日本原燃殿を支援し、「安全・安心」で、高い「品質と効率」を保ちながら日々の仕事を確実に進めていくことです。

我々協力会社は独立した企業としてそれぞれの立場は異なるものの、原子燃料サイクル事業の一層の進展に向けた「共通の目的意識」を持ち、高い技術と技能、経験を持つプロ集団として、日本原燃殿のニーズに応える支援と協力を誓い、次の三つを決意しここに表明いたします。

一、我々は、一人一人が日本原燃殿の事業を支え、完遂させる「当事者であり、社会的責任感も持った主人公」であるという認識に立ち、安全と品質の確保に努め、コンプライアンスを遵守しながら、PDCA サイクルをしっかりと回して計画的に業務を推進します。

一、我々は、日本原燃殿や各社と「双方向のコミュニケーション」をとり、チームワークを大切にしながら協力し合います。また常に技術・技能、品質、安全、効率面でお互いにモチベーションを持って切磋琢磨していきます。特に82社が活動する「再処理企業協議会」の場も活用して強力に進めて行きます。

一、我々は、日本原燃殿と協調し常に「現場・現物・現実」に目を向け、エンジニアリング活動、TPM活動、ヒューマンエラー防止活動を軸に安全・品質の一層の向上と、災害・不適合の未然防止を図ります。特に現場「安全管理」は命を守る「生命管理」であると共に、家族・地域の皆さんの「幸福管理」であることを肝に銘じ活動に当たります。

☆☆☆

以上の思いを皆さんと共有し、これから迎える正念場を乗り切って行きましょう。

ご安全に！

副社長挨拶



日本原燃(株) 代表取締役副社長

酒井 和夫

再処理企業協議会の皆様には、私ども日本原燃各事業へのご協力いただいていること厚く御礼申し上げます。また、新規制基準対応工事も順次準備が整ったものから始まっておりますので、今後とも安全第一でよろしくお願いいたします。

さて、本年5月には「使用済燃料再処理機構」に関する法案が成立しました。これにより、本年10月以降は、当社はこの機構から再処理事業やMOX事業を委託されることになります。機構は事業計画を国の認可を受け、必要な資金を拠出金として電力会社から強制力をもって徴収し、当社に支払うことになります。これにより電力市場の競争環境化においても、当社は必要な資金を安定的に確保できることになります。しかしながら、国の認可を受けた事業計画を遂行するために必要な費用でありますから、当社は自らが自律的にこれを適正かつ効率的に使う義務を負います。安全の確保と地域振興を両輪として、事業を推進する上において企業としてのガバナンスの強化を強く求められています。

このため、当社は6月30日を持って経営機構改革を行いました。経営陣である取締役には、当社と直接利害関係のない3名の独立社外取締役を迎え、さらに、内部取締役は12人を4人に少数化し経営に当たります。また、経営を担当する取締役と執行を担当する執行役員の機能を分離します。再処理事業部について言えば、村上事業部長が執行役員として事業の執行に責任を持ち事業を推進してまいります。一方、私は再処理事業部担当取締役として経営を代表して、執行側の活動や判断が適正かつ効率的かという観点で監督・監視することになります。経営側と執行側は、お互いに緊張感のある関係を保ちながら再処理事業完遂という究極の目的のため、お互いに切磋琢磨してまいります。

さて次に、日本原燃の再処理事業に対して、米国の議会等において米国政府高官が批判的な発言をしたという報道をよく耳にします。現在の米国政府関係者は、日本の再処理事業が平和利用に徹していることは理解していますが、中国が日本のプルトニウム保有に対して非難していることに対して、何らかの対応をしないといけないということで、このような発言になっていると推察されます。日本が再処理を進めるためには、日米原子力協定における米国の同意が必要ですが、これはまさに外交問題ではあります。しかしながら外交的折衝で解決するものではなく、プルサーマルの推進、再処理事業、MOX事業の着実な推進により、余剰プルトニウムを持つことなく平和利用が進んでいることを示すことが究極の解決です。再処理事業、MOX事業の推進に関しては、この事業場で働く皆様と私ども技術力、特に現場力こそが事業の推進力であり、この問題を解決するものです。

再処理企業協議会におかれましては、技術力向上に正面から立ち向かった取り組みを期待していますので、よろしくお願いいたします。

第3回再処理企業協議会杯ゴルフ大会

成績	氏名	会社名	GROSS	HDCP	NET
優勝	齋藤 和彦	(株)関電工	107	36.0	71.0
第2位	齋藤 良紀	三菱マテリアルテクノ(株)	82	9.6	72.4
第3位	荒木 啓夫	(株)クリハラント	82	9.6	72.4

7月2日(土) 下北スリーハンドレッドゴルフクラブにて第3回再処理企業協議会杯ゴルフ大会が開催されました。

会員及び企業間の更なるコミュニケーションの場として、新緑の空の下(途中豪雨)52名の方々にご参加いただきました。

日ごろの練習の成果が出た方も出なかった方も、和気あいあいとラウンドを終えることができました。ご参加いただいたみなさま、どうもお疲れ様でした。



優勝者コメント

この度、再処理企業協議会主催の「第3回再処理企業協議会杯ゴルフ大会」に参加させていただきありがとうございます。私的にはいつものレベルの低いゴルフで、出だしこそよかったです。いつもの如く、ダブルボギーペースでまわり、同伴競技者に恵まれ、楽しくまわらせていただきましたので、それだけでも満足なのですが、今回、ダブルペリアの力を借り、最後には運も味方して、わたしよりグロスでいい成績でした方を差し置いて、優勝させていただき、ありがとうございました。

来年も同ゴルフ大会が開催されるかと思えますので、今回、実力が発揮できなかった方や、成績に不満が残った方、また、最近、ゴルフを始めた人やゴルフの成績がまだ良くない人も、この大会は優勝する可能性がありますので、ふるって参加していただき、大会をしいては、再処理企業協議会をみんなで盛り上げましょう。この度は、ありがとうございました。



株式会社 関電工
エネルギーシステム本部
原子力部 六ヶ所事業所
齋藤 和彦

たきつけかけは、通称「古記録」と呼ばれる、平安貴族官僚の日記史料、特に、時の権力者であった藤原道長の、自身の備忘録として綴(つづ)られた「御堂関白記(みどうかんぱくき)」(現在、世界記憶遺産)に、その「駿馬」の記載を見つけた時からだった。

ご存知の通り、道長の父藤原兼家の「尾駁の駒」の歌は、「蜻蛉日記(かげろうにつき)」に取り上げられている。しかし、その子息、道長自身は歌は詠っていないが、「駿馬」には関心があつたことが、長和二年(一〇三二)四月二十三日の日記に伺える。それは、京都の上賀茂神社(勅祭社)参詣の折、賀茂社とは関係ない記事「松尾社の神馬は、鹿毛の駿であつた」と、突然のごとく、その日の日記に記している事から見てわかる。

当時、貴族社会の馬の集配・分配システムは、道長を中心に回っていたとされる。「道長研究」の第一人者、倉本一宏氏(当村歴史フォーラム講師)は、「道長は非常に馬にこだわる人で、馬の顔がわかり、そののみならず、これは何年か前に自分あげた馬だということまでわかり、それは、何年後に見てもわかる」と話していたが…。

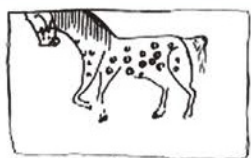
次回は、その「まだら馬」の神聖性についてお話して見たい。乞う、ご期待…。



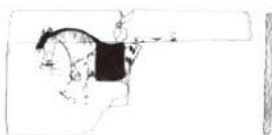
六ヶ所村「尾駁の牧」歴史研究会会長 相内 知昭

実は、古代・北東北の史跡「秋田城」と「弘田柵(ほったのさく)」から、白黒の「まだら」模様の絵馬が発掘されている…。なぜ、古代人は「まだら」の馬に願いをたくしたのか? 私は「尾駁の駒」を考える上から、常日頃から「なぜ、キレイな白馬のような馬ではなく、駿(まだら)模様の馬が珍重されていたのか?」大変不思議に思っていた。

「六ヶ所村史」によれば、「おぶち」とは「尾が駿」いう意味ではなく、「体毛がまだらであつて、小駿」の転化、いわゆる小さい斑(まだら)模様の馬」と捉えるべきではないかと解説している。確かに言われてみると、尾が駿の馬をイメージできない…。



秋田城跡の絵馬



弘田柵跡の絵馬

『ミステリアスな歴史・古代の六ヶ所村』(第四回)

再処理企業協議会 第3回各社対抗ダーツ大会 結果発表

団体の部 **優勝** チーム青森クリエイト本命 (株)青森クリエイト



団体の部

順位	会社名	チーム名	得点
1位	(株)青森クリエイト	チーム青森クリエイト本命	583点
2位	日本通運(株)	TRU	535点
3位	(株)関電工	カンデンコウユコース	456点
4位	(株)大林組	アトミックパワーズⅡ	453点
5位	三和テクノサービス(株)	チーム シーサー	452点

・狙って高得点が取れるほどのスキルはないので、ほぼ「ハンデ」と「運」のおかげだとわかってはいますが…やっぱり優勝は嬉しいです。自社のみならず、他企業の方とも盛り上がることができ、とても楽しい時間でした。

平館 朋子

・初めてダーツ大会に参加して、「優勝」という結果が出て正直ビックリです。個人では良い成績は出せませんでしたが、チームのメンバーが頑張ってくれたおかげで団体では最良の結果になりました。来年は高得点を目指します。

酒井 美津穂

・今回、ダーツ大会に参加して優勝という結果にとっても驚いています。短い時間でしたが他社の方々と交流することができ、楽しかったです。また、個人では4位と少し悔しい結果でしたが、団体での優勝に満足です。

能登 朋香

・今年はハンデを活かし、優勝。来年は連覇を目指します。チャレンジャーどーんと来なさい。

監督



個人の部 **優勝** 上野 貴幸 (株)関電工

個人の部

順位	氏名	会社名	得点
1位	上野 貴幸	(株)関電工	247点
2位	小原 幸則	三和テクノサービス(株)	244点
3位	川島 良顕	日本通運(株)	216点
ハイスコア賞	照尾 彰教	原子燃料工業(株)	138点

皆様、毎日の安全作業ご苦労さまです。

この度の再処理企業協議会主催のダーツ大会、とても楽しませていただきました。

前大会も参加したのですが成績は今一つ、今回は参加するつもりが無かったのですがメンバーに欠場がでて急ぎよ参加、間違っても優勝してしまいすいません。今後も各会社の親睦を深めるために良い大会だと思いますので、参加させていただきたいと思います。

ありがとうございました。

関電工 上野 貴幸



下北半島ツーリング

株式会社東芝 生駒 眞之介

下北半島を反時計まわりに一周する予定ではじめに尻屋岬を目指した。初夏の陽気に横たわる寒立っていない馬を拝んだあとガソリンスタンドで大間への道を探ねると、おばさんが湘南ナンバーをみて「えらい遠くから！」と驚いてから嬉しそうに道を教えてくれた。どうやら次の集落の手前に抜け道があり林道を抜けて二つ目の集落で右折するのが国道への近道らしい。集落の切れ目がさっぱり分からなかったが教わった道を行くと少し迷ってちょうど昼時に大間に着いた。せっかくなのでマグロ丼を食べたのだが、いまは大間にマグロがないことを後から知った。大間を出ると雨が降りはじめた。濡れながら走るが仏ヶ浦の手前で給油ランプが点灯したので泣く泣く引き返した。三沢に着いてもまだ服濡れていて寒くてひどく疲れた。それでもまたツーリングにいくだろう。風をきる清々しさ、全身で感じる景色、そして出会った人との会話。どれもバイクの魅力だがその魅力は言葉で語りつくせない。でもそれはきっと乗ってみればすぐに分かるはずだ。次に、私が紹介するのは株式会社オー・シー・エルの阿部寛さんです。



ボルダリング

株式会社ジェイテック 樋口 健大

平素より大変お世話になっております。脱調課斉藤様より依頼され寄稿させて頂きますジェイテックの樋口健大と申します。今回は私が最近ハマっていることについてご紹介させて頂きます。運動不足解消を目的に友人の紹介で【ボルダリング】というものを始めてみました。ボルダリングはホールドと呼ばれる突起物を掴んでロープ無しでクライミングするスポーツです。クライミングしている人を見ていると簡単そうだなと思っていましたが、実際にやってみるとこれがなかなか難しいのです。初心者の方は腕力のみで登ろうとするため、すぐに腕がパンパンになり後半は腕が上がりなくなりました。コツとしては体全体を使い、バランスを意識するそうです。ボルダリングのおかげで最近体の調子も良く、今後は筋トレも初めていきたいと考えるようになりました。ボルダリングは誰でも気軽に始められるスポーツなので興味がある方は是非やってみてはいかがでしょうか。

次は、青森クリエイトの正村さんを紹介いたします。



HIPHOP ダンス

日本原燃(株) 放射線施設課 榊 雄一

再処理事業部品質保証課の齊藤さんよりバトンを受け継いだ、再処理事業部 放射線管理部 放射線施設課の榊です。

今回は私が現在行っている、地域貢献活動について紹介させていただきます。

今から3年前の2013年12月から、趣味であるHIPHOPダンスを生かし、おいらせ町でダンスサークルを立ち上げ活動を行っております。

活動を始めた当初は、教えるという立場に立ったことがない私は、人に伝えるということの難しさに試行錯誤しました。もちろん、今でもあります。

しかし、サークルメンバーの支えもあり、今となってはまだまだ成長過程ではありますが、4歳～60歳までの幅広い年齢層の方々に集まっていただき、指導させていただきながら毎回楽しくダンスをさせていただいております。

また、おいらせ町、近隣のイベントにも参加させていただき、サークルメンバーと最高の作品と一緒に作り、沢山の笑顔と感動をもらい、最高に幸せです！

これから、町をさらに活性化できるように、このサークルをもっと盛り上げていき、地域に貢献できるように努めていきたいと思っています。

是非、年齢制限も経験も関係ありません、興味のある方、楽しくダンスをしたい方、遊びに来てください！

追記：次は富士電機の福山さんにお願います。



カヤック体験

青森日揮プラント株式会社

大山 貴史

皆様、毎日の業務お疲れ様です。大学の先輩である美和電気工業(株)若松先生よりバトンを引き継ぎました青森日揮プラントの大山です。

今回は私が最近体験したカヤックについてお話ししたいと思います。

きっかけは友人からの誘いでした。天気が良さそうなので行ってみようかなと軽い気持ちだったのですが、行ってみて本当によかったと思います。

私がカヤックのどこに魅了されたかと言いますと、時間帯や季節によって見える風景が全く違い、何度乗ってもまた違った魅力を味わう事が出来る場所です。

何より天気がいい日に、時折跳ねる魚を見ながら湖をプカプカ浮いているだけでとても気持ちのいいものです。

風景を見ながらゆったり散歩をするのが好きな方や、癒しを求めている方にはお勧め出来るかと思います。

今回私が行ったのは小川原湖でしたが、八戸や十和田湖でも体験プランがあるようです。

皆さんも今年の夏は新しい趣味を探してみたいかがでしょうか。

さて次は、銀牙-流れ星 銀-が好きで少しお茶目な(株)ジェイテックの竹内通宏さん、よろしくお願います！





江藤 浩之

精霊流し (長崎県長崎市)

毎年8/15に行われる精霊流しは、初めてお盆を迎えた御霊を極楽浄土にお送りするためのものですが、静粛でござかなものだけでなく大量の爆竹を鳴らしながら、派手な精霊舟を曳いていきます。一度、耳栓を持って見に来て下さい。



菅野 雄幸

娘娘のスタミナラーメン (埼玉県さいたま市)

夏限定ではありませんが、さいたまの暑い夏にはもってこいの県民のソウルフードです。

二夏の辛いあかかけが夏バテでも美味しく食べられるラーメンですよ。



安藤 清浩

船橋の梨 (千葉県船橋市)

千葉と言えば「ふなっしー」で有名な船橋の梨。暑い夏に水分たっぷりおいしい梨は如何でしょう。



二宮 泰一郎

中野のねぶた祭り? (東京都中野区)

中野区には有名な夏祭りはありませんが、青森フェスティバルというイベントでは、大型ねぶた、跳人、お囃子が上京して、ねぶた祭りを再現してくれます。東北グルメの出店もあり、東京に居ながら青森の夏祭りの雰囲気を楽しむことができます。



金光 健一

旬の味覚! 天然岩牡蠣 (鳥取県)

7~9月が旬となる天然岩牡蠣。鍋、フライ、ソテーなどのレシピがありますが、地元では殻長13cm以上の「夏輝」ブランドが生食で最高です。



細谷 哲章

黄門まつり (茨城県水戸市)

真夏のイベントとして、毎年8月の第1金曜日に千波湖の花火大会で開幕。土日には、市内メインストリートが歩行者天国になり、水戸黄門パレードなどが行われます。



「夏といえば…」 さいくる de Talk 三菱マテリアル株式会社



清水 康裕

しゃんしゃん祭り (鳥取県鳥取市)

毎年8/13~15にかけ、日本最大の傘踊りとして、色鮮やかな因州和紙と30個の鈴を飾り付けた華麗な和傘を手に、4,000人を超える踊り子たちが、一斉に舞います。



須田 和浩

河原での BBQ (茨城県常陸太田市)

常陸太田市には、鮎釣りで有名な久慈川が流れています。夏になると、河原でBBQや川遊びキャンプなどをしている人をたくさん見かけます。



福田 宏英

スイカ (鳥取県)

鳥取県は、スイカの産地です。畑にスイカが実ると夏が来たと感じられます。



安本 昌史

倉吉打吹まつり (鳥取県倉吉市)

倉吉では、例年8月の第1土日に、みつぼし踊り、山車(屋台)巡行、牛鬼、女みこし、飛天花火などのイベントが開催されます。



藤田 裕亮

霧の町釧路 (北海道釧路市)

釧路の夏と言えば、月20回程度発生する霧でしょうか。最高気温は21℃程度でとても過ごしやすいです。



小泉 優子

青森の祭り (青森県)

青森市では「ねぶた」、弘前市では「ねぶた」、五所川原市では「立佞武多」、八戸市では「三社大祭」。毎日のようにどこかで祭りが催され、夏の青森はまさに「祭り」一色となります。



大石 晃子

嶽きみ (青森県)

弘前市の岩木山麓・嶽高原で栽培されているとうもろこし。糖度は18度以上にもなり、普通のとうもろこしに比べ圧倒的な甘さです。



再処理企業協議会 ホームページのご案内

再処理企業協議会では、ホームページを公開しております。当ホームページでは、設立趣意書、かわら版や会報等を紹介しております。また、会員限定のページもあり、入所時教育の申込やお知らせなど多くの情報を確認できます。当協議会では、ホームページの改善やコンテンツの充実に努めてまいりますので、是非当ホームページを奮ってご活用ください。

また、再処理企業協議会では、協力会社の皆様のご意見、ご要望を受付しております。以下にて、ご連絡ください。
なお、相談者のプライバシーにつきましては厳重に保護されますのでご安心ください。

●ホームページアドレス

<https://www.saisyori-kigyokyogikai.jp/>

●電話・FAX

0175-71-2487 平日 10時～16時

0175-71-2488



行事のお知らせ

7月………防護服着用ポンプ・弁修訓練
8月9月…現場管理保全研修
9月………六ヶ所エネルギーパーク見学会
10月……ボウリング大会
11月……もちつき大会



事務局長あいさつ

いつも再処理企業協議会活動へのご支援
ご協力いただきありがとうございます。

昨年十一月、講師に落語家の三遊亭白鳥師匠をお招きして、「笑いと安全管理」をテーマに、少し趣向を凝らした安全講演会を開催し、大変ご好評をいただきました。

顔マツサージや肩甲骨を動かすと自立神経が活性化する、上を向いて声を出す（笑う）ことで気力と元気が生まれる。安全は想像力を働かせることが大事（落語が良い）。やった事のない動作は脳が働かないことなど、身振り手振りを交えた楽しい講演でした。

作業安全は、ハード対策も大切ですが、やはり日々のTBM（KYT）、基本動作とチームワークが最も重要だと思います。新規制基準対応工事が本格化することから、作業環境は更に厳しくなると考えられます。是非もう一度、ご自身の作業現場を確認し、危険の芽を摘んで、この夏を元気に乗り越えていただきたいと思います。

二〇一六年七月



再処理企業協議会
事務局長 北上 孝寿

編集担当者より



むつ小川原燃興産㈱
秋田谷 秀行

私事都合により、七月末をもちまして六ヶ所村から離れることとなりました。これまでも、再処理企業協議会の広報部会で活動させて頂いたことに感謝申し上げます。これからも、再処理企業協議会へのご理解及びご協力をよろしくお願いいたします。



株式会社神戸製鋼
門脇 好幸

神戸製鋼の門脇です。
今年は仕事もプライベートも忙しい年になりそうですが、体調管理には気を付け、暑い夏を乗り切りたいと思います。



株式会社クリハラント
渋谷 仁通

クリハラントの渋谷です。
昨日が「暑かったのか」「涼しかったのか」も記憶が怪しいので、これから暑くなる中、正気が保てるか心配です。